

大間々砂防通信

OMAMA - SABO - TIMES

国土交通省 関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所 大間々砂防出張所 編集・発行
 〒376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々1204 Tel 0277-72-1664 Fax 0277-72-1669
<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

平成26年(2014)

8

月

【第3号】



リアルタイムの雨量と
 水位を知りたい時は、
 コチラ↓↓↓
<http://i.river.go.jp/>

川の防災情報

川遊びが楽しい季節です。でも、ダム放流やゲリラ豪雨に気をつけて下さい。たとえ目前に晴天が広がっていても、突然に増水する恐れがありますので！



写真-1 両毛漁業協同組合の中島組合長(左)の指導の下、稚魚の放流を行う須藤出張所長(中)と萬屋建設㈱高橋現場代理人(右)
 =7月23日午後

小黒川でイワナ稚魚の放流

みどり市東町荻原地区
 H25関守一号床固工事

両毛漁業協同組合
組合長の指導のもと

7月23日、みどり市東町荻原地区を流れる渡良瀬川支川の小黒川にて、偶然、両毛漁業協同組合の中島淳志組合長とお会いすることが出来ました。

同箇所は、萬屋建設㈱さんがH25関守一号床固工事を施工している現場で、当日は、7月末の工期を目前にした工程の最終段階です。我々、大間々砂防出張所職員も、現場で出来形の確認作業を行っていました。

そんな折、中島組合長に挨拶したところ、偶然にも、これから「イワナ」の稚魚を放流することとのこと。更に話をしていると、組合長の提案で放流を手伝えることに。その結果、



写真-2 中島組合長(左)の説明を聞く須藤出張所長(右)と出張所技術員(中)

組合長の乗ってきたトラックの荷台にはひととき大きな水槽が載っており、その中にはイワナの稚魚数百匹が泳ぎ回っていました。それを丁寧に網ですくい、バケツにより分けていく中島組合長。そしてそれを興味深そうに見つめる一同。

やがて組合長の指導の下、バケツの中の稚魚を須藤所長と高橋代理人の二人が慎重に川に放しました。

稚魚の放流を終えた須藤所長は、将来、このイワナが大きくなり、H25関守一号床固工事にて設置した魚道を遡って来る姿を想像し、また仕事への決意を新たにしました。(4面に関連記事)



写真-3 放流前、バケツの中を泳ぐイワナ稚魚

炎天下の 現場作業 多発する熱中症に対して 砂防工事現場での取り組み



写真-7



写真-4



写真-8



写真-9



写真-6



写真-5

○写真14…沢水を冷蔵庫代わりに、飲料を冷やし、休憩中に作業員の方々に水分補給をしてもらいます。

○写真5…熱中症における様々な症状を段階毎に説明するポスターを現場内に掲示しています。これで少しでも、作業員の方々に、熱中症の初期症状等に気を配っていただきたいと願っています。

○写真6、7、9…温度と湿度で判断する熱中症計

真夏の工事現場は大変です。特に日差しを遮るものが無い河川内での作業は、休憩をしつかりと取り、常に体調管理に気をつけなければ、どんなベテラン作業員さんでさえ、たちまち根を上げてしまいます。そして酷いときには、熱中症になり、病院へ搬送される事態になりかねません。

そのため我々、大間々砂防出張所では、監督を行っている工事受注者の方々に、常日頃から熱中症対策への取り組みをお願いしています。今回は、その一例を写真と共に紹介させて頂きます。

を、現場内の目立つ位置に掲示しています。熱中症の自覚症状は人それぞれですが、この熱中症計のように客観的かつ定量的な数値によって、現在の現場状況を把握し、熱中症に対する危険度の目安としています。

○写真8…現場内に屋根のある休憩場所を用意し、中にミスト散布も出来る大型扇風機を設置しています。作業員さんの中には、自宅より居心地が良いとか無いとか。

あくまで工事現場での対応事例なので、一般のご家庭で、これとまるっきり同じよう対策を講じるのは難しいと思います。しかし、これらの事例をきっかけに、少しでも熱中症に対する理解が深まり、一人でも熱中症にかかる方が少なくなっていけば幸いです。

お役立ちサイト

環境省や総務省でも熱中症に対する各種取り組みを行っています。ご参考下さい。

環境省熱中症予防情報サイト
全国約850ヶ所の暑さ指数の予測値・実況値

環境省熱中症予防サイト
http://www.wbgt.env.go.jp/

熱中症情報
熱中症を予防して元気を夏を！

総務省消防庁の熱中症情報サイト
http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html



写真-10 表彰式後に記念撮影を行う受賞者一同と渡良瀬川河川事務所長(下段中央)＝7月16日、渡良瀬川河川事務所内

池下工業株が受賞 H24関守二号床固工事

7月16日、渡良瀬川河川事務所にて、昨年度に完成した工事及び業務の中から優良工事及び優良業務を選ばせていただき、それら工事等の契約会社及び担当技術者に対し、感謝の意を込めて、表彰を行いました。我が大間々砂防出張所の監督工事の中からも、「H24関守二号床固工事」を施工した池下工業株式会社が、関東地方整備局長表彰の優良工事に選ばれました。

今後、このような表彰を受けることが出来る工事を多く輩出できるよう、出張所一同、頑張っていきたいと思っています。

平成25年度 渡良瀬川河川事務所
優良工事・優良業務等表彰式

C B B O型砂防堰堤【H25日暮沢二号砂防堰堤工事】 鋼製スリット部材の工場検査を実施

(4面に日暮沢砂防堰堤群の全体計画図があります)



写真-11 鋼製スリットの検査を行うため、部材が並べられた工場に集合する関係者一同
＝7月25日、愛知県半田市、瀧上工業㈱半田工場

愛知県半田市 瀧上工業㈱半田工場にて製作

7月25日、H25日暮沢二号砂防堰堤工事で採用しているC B B O型砂防堰堤で使用する鋼製スリットについて、それを構成するパーツを作成している工場に向き、検査

査を行いました。
この鋼製スリットを製作できる工場が関東近辺には無く、今回は愛知県半田市にある瀧上工業㈱半田工場というところで製作を行いました。
検査内容としては、三百個を超える部品からなる鋼製スリットなので、その部

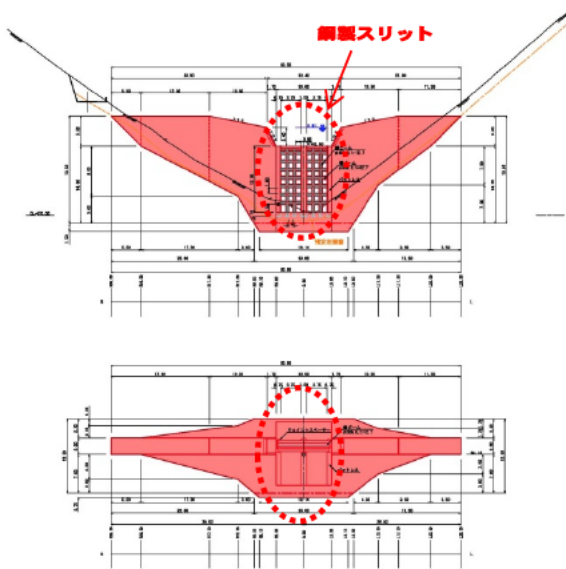
品一つ一つに対し、寸法に狂いや歪みは無いかなどを確認します。そして、実際にいくつかの部材を仮に組み立てし、仮組立状況での寸法及び外観検査を行います。
工場と聞くと、空調の効いた室内を想像される方もいらっしゃるかも知れませ

んが、今回製作している鋼製スリットは完成時は約12mを超えるサイズであり、とても空調の効いた屋内で製作等出来る代物ではありません。むしろ、かろうじて屋根と柱と少しの壁があるだけの工場内では、屋外よりも風の抜けが悪く、また熱もこもりやすく、屋外

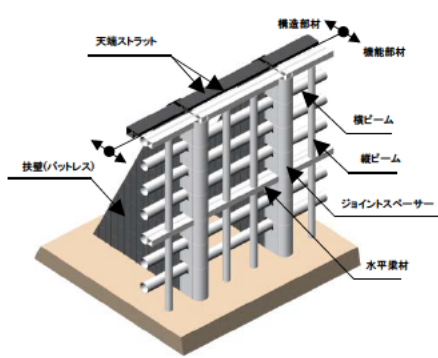
よりもかえって過酷な現場条件でした。これはより一層、熱中症へのリスクを考える必要があると考えさせられました。

工場検査の様子について、写真にて紹介させていただきます。

日暮沢二号砂防堰堤 構造図



鋼製スリット イメージ図



Q. 鋼製スリット式砂防堰堤とは？

A. 通水部に格子状の構造物(鋼製スリット)を設け、主に土石流や流木対策として計画される堰堤です。メリットとし、閉塞していない時期は動物や魚類の行動範囲を阻害しないことから環境に優しく、一方、土石流発生時には巨礫等がスリットを閉塞させることで、土石流を補足し、下流への流出を阻止します。



写真-12

○写真12…発注者として大岡々砂防出張所職員、受注者として池下工業㈱現場代理人、鋼製スリットの開発メーカーとして共生機構㈱営業担当、そして実際に製作を行う瀧上工業㈱の検査責任者。この4者が一同に立ち会い、色々な確認を行います。
○写真13…部材一つ一つについて、寸法が許容誤差2〜3mm以内に収まっているかどうか、数人の立会の下、慎重に計測をしています。この写真ではジョイントス



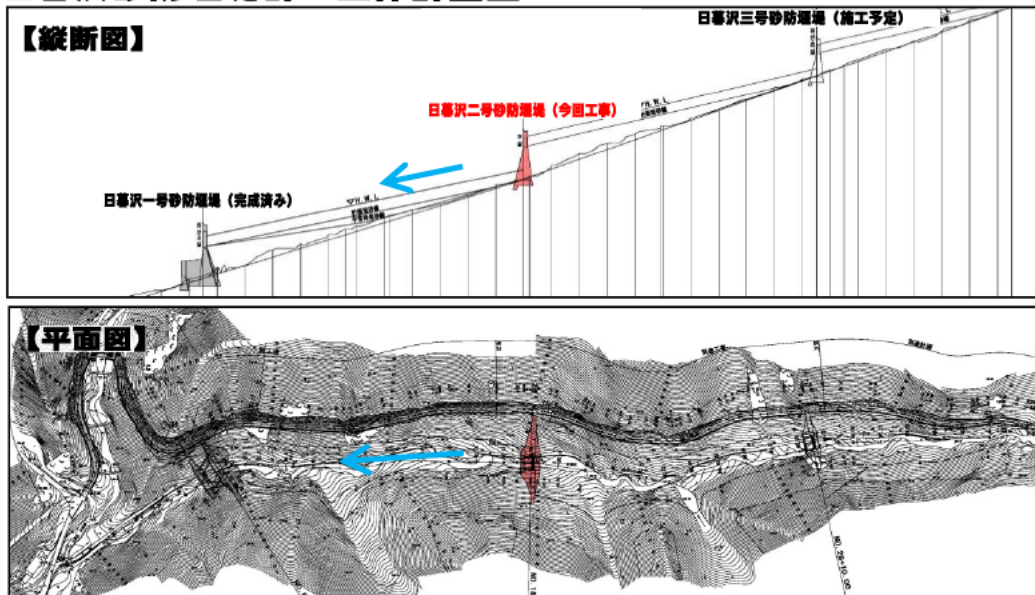
写真-13



写真-14

ペーサーの蓋部分の計測を行っています。
○写真14…砂防工事では減多に見ることの無い大口径の鉄筋(直径51mm)です。これは、鋼製材の内側の継ぎ目に溶接されており、補強とコンクリート打設後のずれ止めとしての役割を担っています。こちらについても溶接長は十分か、鉄筋径に間違いは無いかなど、立ち会いの上、確認いたしました。

日暮沢砂防堰堤群 全体計画図



工場検査にて確認されたこれらの部材は8月下旬には工場から出荷され、H25日暮沢二号砂防堰堤工事の現場にほど近い箇所に仮置きヤードを設け、そこに搬入される予定です。そして、実際に現場で部材の組

み立てが行われるのは、10月上旬頃になる予定です。

日暮沢砂防堰堤群は全部で3基計画されており、そのうち、最も下流にある一号砂防堰堤は平成25年1月に完成しています。

魚と砂防の共存を目指して

(1面に関連記事)
イワナ稚魚の放流を終えた後、中島組合長は須藤出張所長を相手に、漁協のあるべき姿や砂防事業と連携していくべきこと、などを熱心に語ってくださいました。

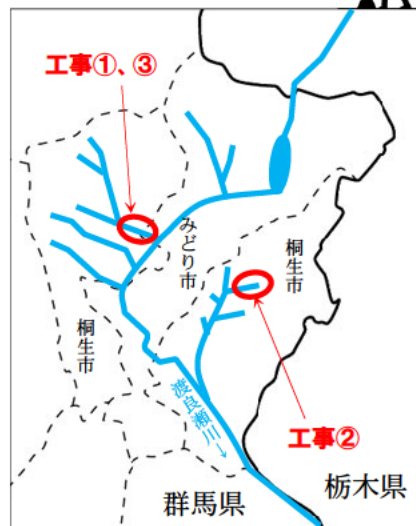


写真-15 漁協と公共事業について意見交換をする中島組合長(中央左)と須藤出張所長(中央右)＝7月23日、小黒川にて

ちなみに、この両毛漁協組合長・中島淳志さんのインタビュー記事が「フライロッターズ」という釣り雑誌に掲載されていました。内容は「釣り場管理の現場」未来のフィールドについて考える」というテーマの元、両毛漁協での新しい取り組みについてのもので、事細かに4頁に渡り、中島組合長の言葉がインタビュー記事として掲載されています。まさに我々が現場で聞いたような話が、より丁寧に説明されていますので、興味のある方は、是非、読んでみて下さい。



大間々砂防出張所管内 工事位置図



- 工事① H25関守一号床固工事**
工期 H25年7月31日～H26年7月31日
契約額 1億4338万1千4百円(税込)
受注者 萬屋建設㈱
箇所 桐生市黒保根町水沼みどり市東町荻原
進捗率 100% (おかげさまで無事完成しました)
- 工事② H25日暮沢二号砂防堰堤工事**
工期 H25年11月20日～H26年12月6日
契約額 1億6147万8百円(税込)
受注者 池下工業㈱
箇所 桐生市川内町
進捗率 70.3%
- 工事③ H25関守三号床固工事**
工期 H26年5月27日～H27年2月27日
契約額 1億4094万円(税込)
受注者 萬屋建設㈱
箇所 桐生市黒保根町みどり市東町
進捗率 3.5%



工事情報

大間々砂防出張所管内における7月31日現在の工事情報を報告させていただきます。

